

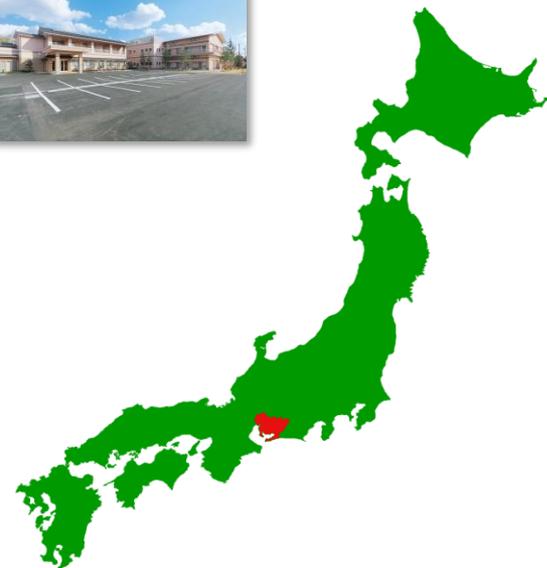
# 4つの受入れルートからの人材を 雇用した現状・課題と今後の方向

- 1 社会福祉法人福寿園の概要**
- 2 外国人受入れの目的と考え方**
- 3 福寿園での外国人介護士受入れ状況**
  - ・ EPA受入れ状況
  - ・ 在留資格「介護」受入れ状況
  - ・ 技能実習受入れ状況
  - ・ 特定技能受入れ状況
- 4 福寿園の外国人財サポート体制**
- 5 現在の課題**
- 6 今後の方向**

# 社会福祉法人福寿園の概要

設立年月日：1980年5月9日 / 所在地：愛知県 / 事業所数：20拠点100事業所

職員数：約1,700名 / 外国人介護士：105名



### 「大家族の理想郷」

### 「愛と感謝と奉仕」

我が法人は、高齢者に対し、真の福祉を实践すべく愛の灯を高くかかげて、「大家族の理想郷を築く」ことを目的として設立されたもので、利用者であると職員であるとを問わず、人間として一つの大生命に生かされている生命の兄弟姉妹であることを自覚し、相互の人間性を尊重し、血の通った温かいサービスのもとに、利用者一人ひとりを幸福にし、自己もそれによって幸福にならんとする「愛と感謝と奉仕」の心に徹し、喜びと誇りをもって福祉事業の持つ社会的責任を果たし、各々の職域を通して人格完成を目指し、精神面の人造りを図らんとするものである。

私たちは、地域共生社会の実現に向けて、つねに「ひとつ上」の目標を掲げ、より質の高いサービスをお届けするとともに、ご利用者や地域の方々と力を合わせて、「人の生きる」を共に支える文化を創造し、育んでいきます。

### ひとつ上の“信頼性”

関わるすべての人から愛され、頼りにされるパートナーになることをめざします。

### ひとつ広い“公益性”

誰ひとり取り残さない未来のために、社会のセーフティーネットとしての役割を果たしていきます。

### ひとつ確かな“持続性”

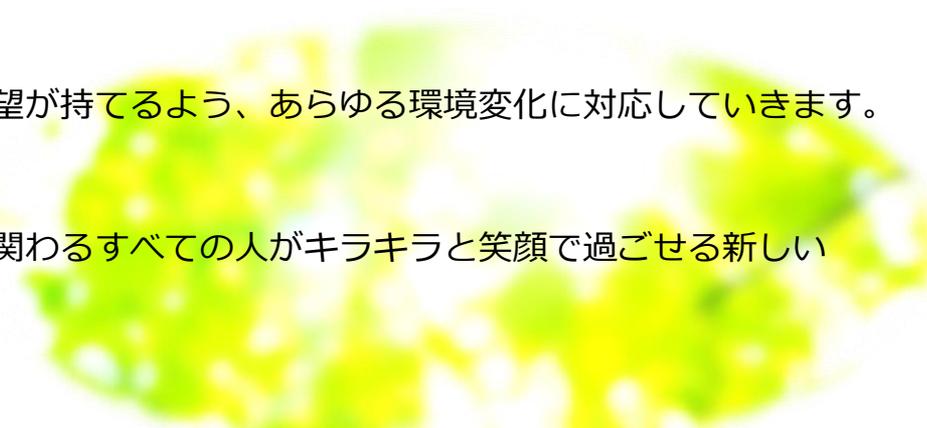
今だけでなく、将来にわたってずっと明るい希望が持てるよう、あらゆる環境変化に対応していきます。

### ひとつ豊かな“創造性”

生きがいと潤いのある豊かな暮らしを提案し、関わるすべての人がキラキラと笑顔で過ごせる新しい生活スタイルを築いていきます。

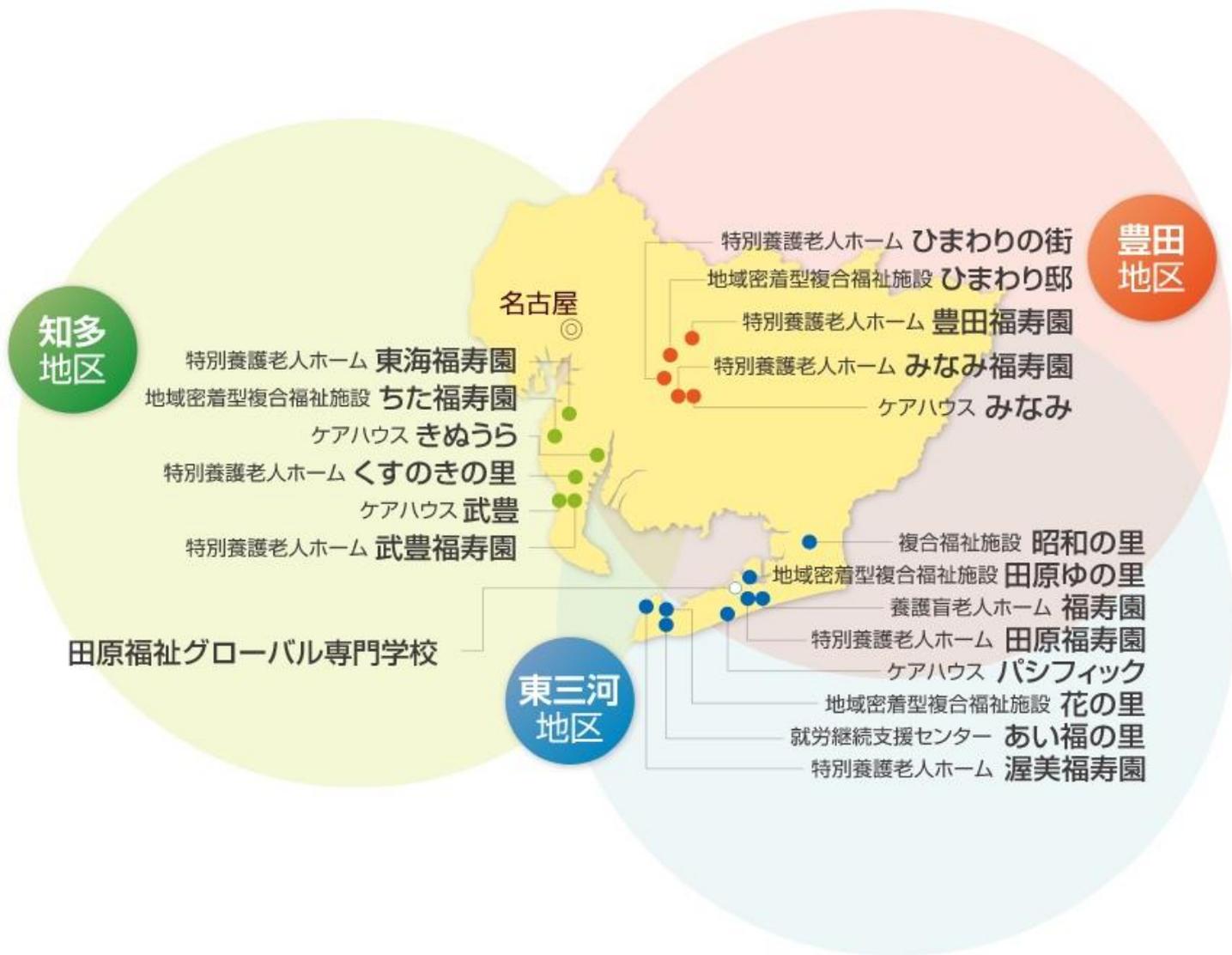
### ひとつ深い“人間性”

ご利用者とのふれあいを通して私たち自らが学び、成長し、あたたかい心の輪を広げていきます。



# 社会福祉法人福寿園の概要

## 福寿園のネットワーク



- 特別養護老人ホーム（12施設）
- ケアハウス（4施設）
- 養護（盲）老人ホーム（2施設）
- ショートステイ（13事業所）
- デイサービス（18事業所）
- 訪問介護（8事業所）
- 訪問入浴（1事業所）
- 居宅介護支援（10事業所）
- 地域包括支援センター（5事業所）
- グループホーム（4事業所）

## 福寿園の主な事業内容

- 就労継続支援センター
- 障がい者共同生活援助
- 特定施設入居者生活介護事業
- サービス付き高齢者向け住宅
- 放課後等デイサービス
- 配食サービス
- レストラン事業
- 外国人介護士人材育成事業
- 田原福祉グローバル専門学校

# 社会福祉法人福寿園の概要

## 田原福祉グローバル専門学校



所在地 愛知県田原市

介護福祉学科 定員40人

日本語学科 定員80人（1年コース、1年6か月コース、6か月コース）

その他、初任者研修、実務者研修、学食カフェ、放課後等デイ、児童クラブ

### 学びのフロー

## 田原福祉グローバル専門学校 日本語学科

### 進学

本校を含む専門学校介護福祉学科へ進学し、  
介護福祉士国家試験の合格を目指します。



N4レベル

1年  
コース

N3レベル

6ヶ月  
コース

介護福祉学科への進学

介護福祉士国家試験を受験  
在留資格「介護」

### 就職

在留資格「特定技能」(介護)を取得し、  
介護施設への就職を目指します。



N5レベル

1年  
6ヶ月  
コース

在留資格「特定技能」

高齢者施設、障害者施設等に就職

## 福寿園における外国人介護士受入れの目的

- 人材不足への対応
- 介護の質の維持
- 職場の活性化
- 国際貢献

どのルートで受入れるにしても

### 大事なのは、日本語能力

日本に来てからの学習では、費用が高すぎる



現地でのある程度の日本語養成が必要に（現地機関と連携協定）  
日本での生活を楽しんでほしい。そのためにも日本語。

そして、もう一点

### 長く日本で働いてもらいたい

過去、EPA受入で1点に泣いて帰国せざるを得なかった経験から  
そのためには

**介護福祉士取得→介護ビザ**（就業年数制限なし）

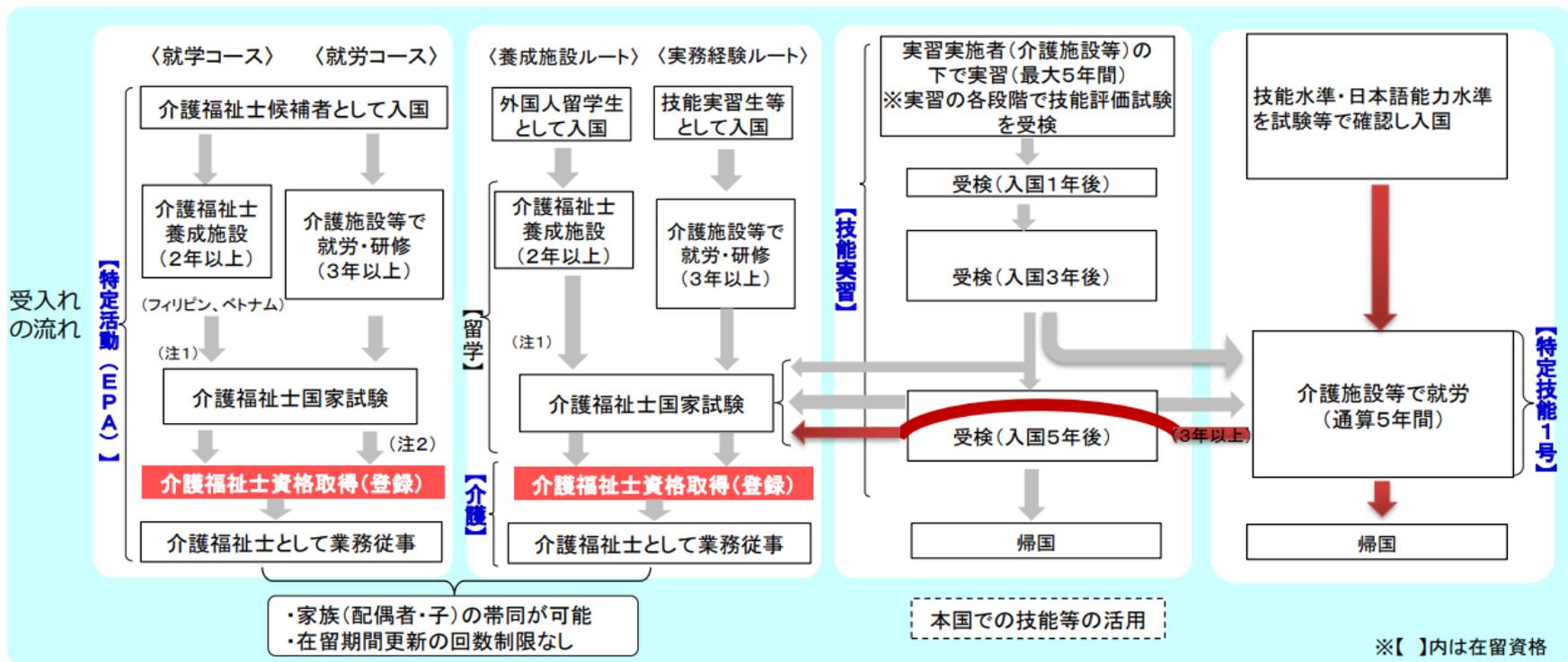
## 外国人受入れにあたって大切なこと

- 一労働者ではなく、日本人と同様に**一緒に働く仲間として受け入れること。**
- 彼ら彼女らの価値観、考え方を理解するよう努力すること。**多文化共生への理解。**
- とにかく**コミュニケーションを図ること**でしか信頼関係は生まれない。

# 4つの受入れルート

## 外国人材受入れの仕組み

	EPA（経済連携協定） （インドネシア・フィリピン・ベトナム）	在留資格「介護」 （H29. 9 / 1～）	技能実習 （H29. 11 / 1～）	特定技能1号 （H31. 4 / 1～）
制度趣旨	二国間の経済連携の強化	専門的・技術的分野の外国人の受入れ	本国への技能移転	人手不足対応のための一定の専門性・技能を有する外国人の受入れ



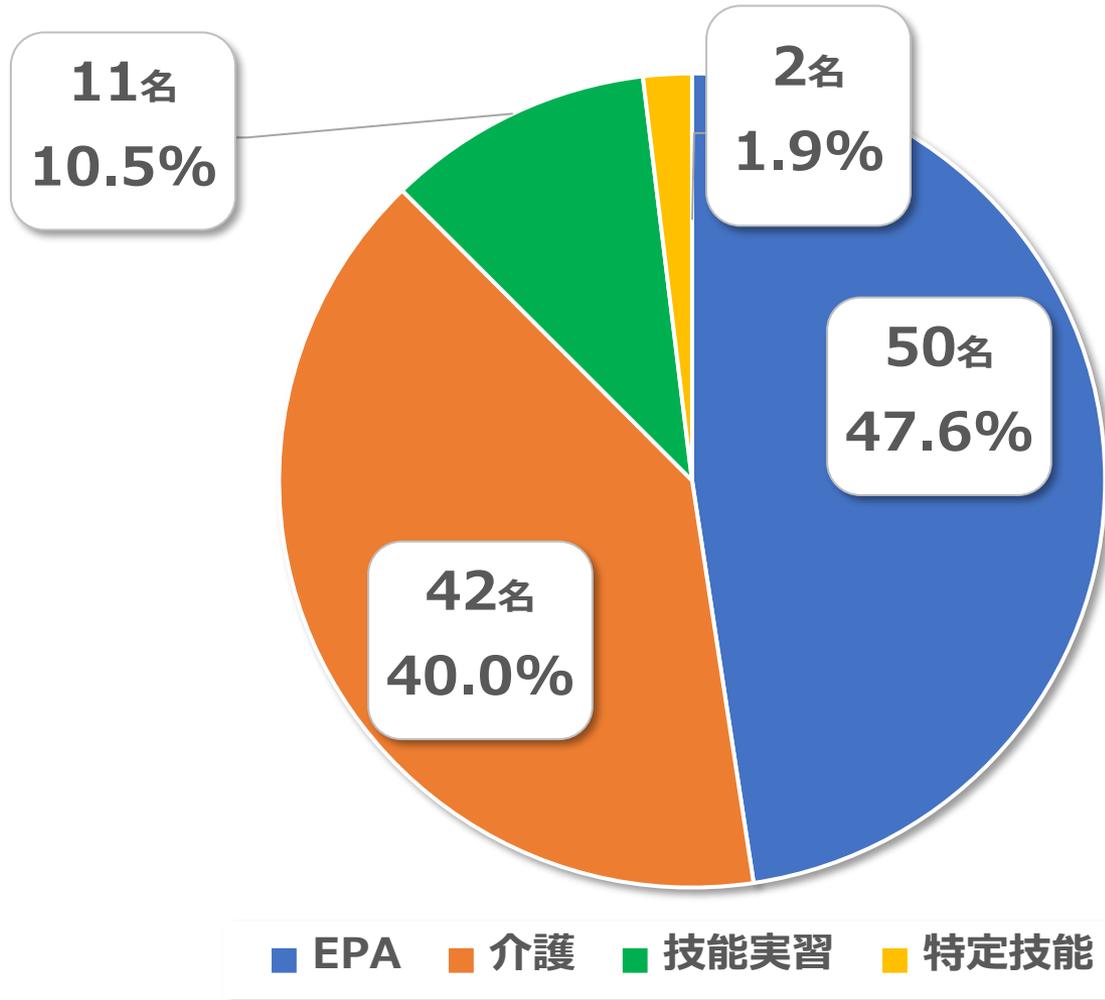
（注1）平成29年度より、養成施設卒業者も国家試験合格が必要となった。ただし、令和8年度までの卒業者には卒業後5年間の経過措置が設けられている。

（注2）4年間にわたりEPA介護福祉士候補者として就労・研修に適切に従事したと認められる者については、「特定技能1号」への移行に当たり、技能試験及び日本語試験等を免除。

# 福寿園での外国人介護士受入れ状況

## 現在の外国人介護士の内訳（受入れルート別）

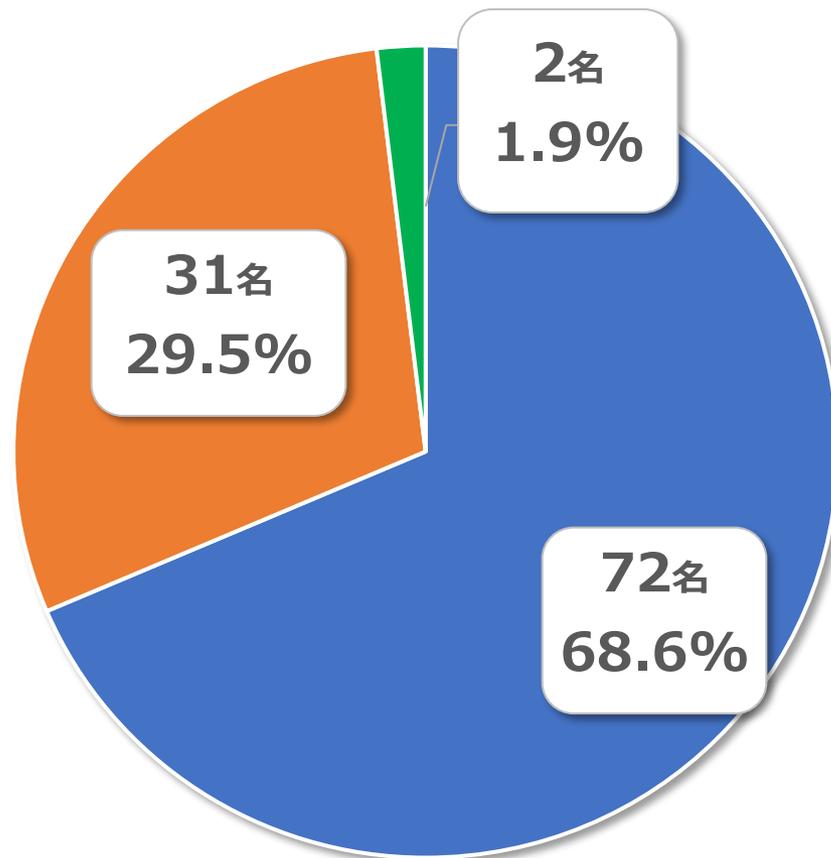
【105名／ルート別】



# 福寿園での外国人介護士受入れ状況

## 現在の外国人介護士の内訳（出身国別）

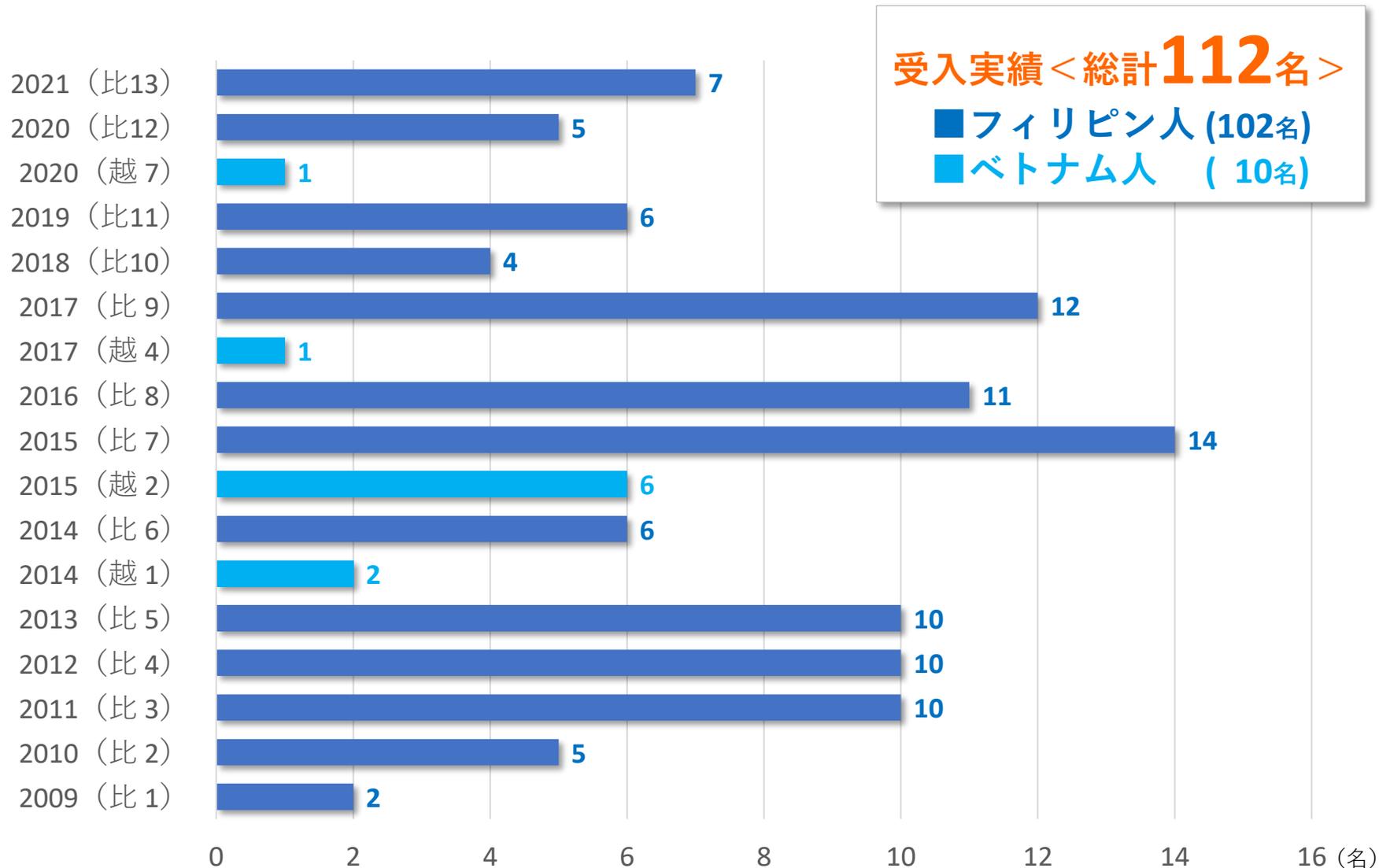
【105名／国別】



■ フィリピン ■ ベトナム ■ インドネシア

# 福寿園でのEPA受入れ状況

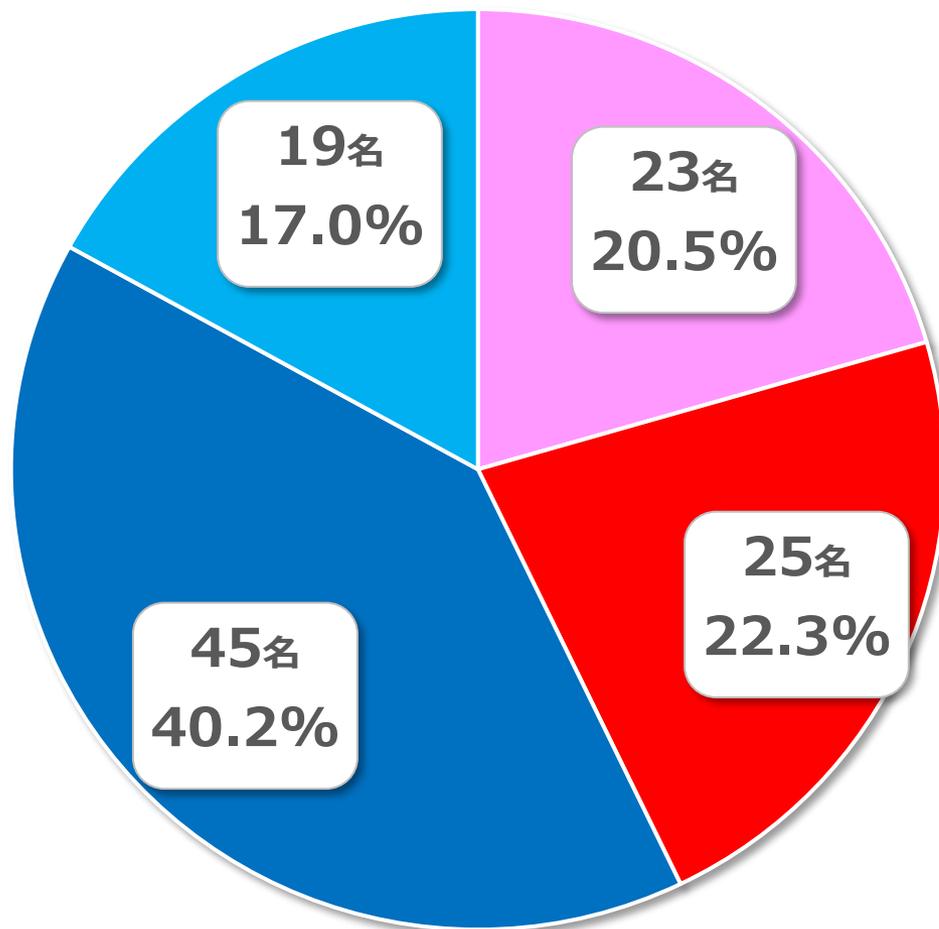
受入実績 / 毎年、EPA候補者を受け入れています



# 福寿園でのEPA受入れ状況

受入実績 / 介護福祉士国家試験の合否等について

【112名の合否結果等】

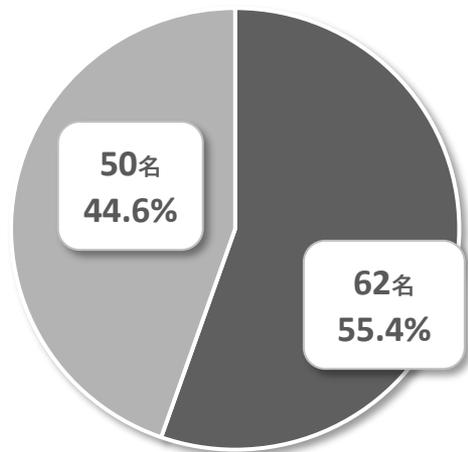


■ 未受験者 (退職) ■ 不合格者 ■ 合格者 ■ 受験予定者

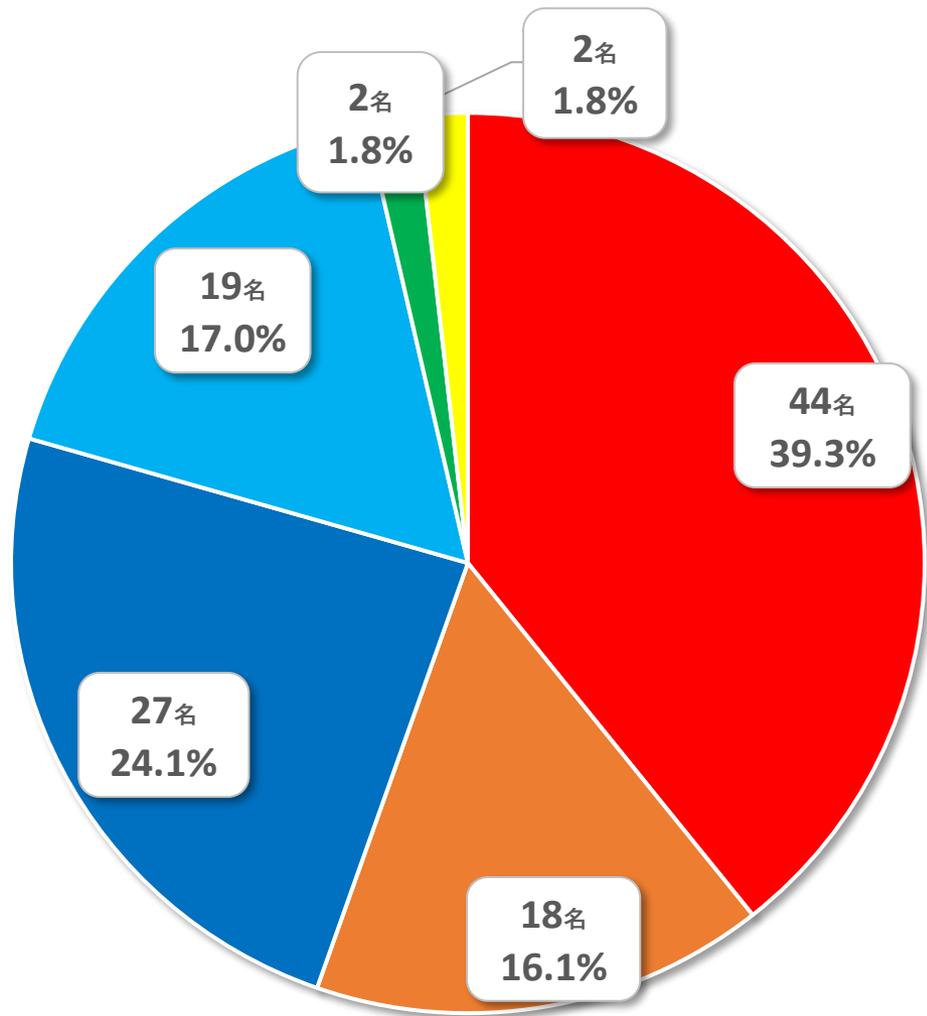
# 福寿園でのEPA受入れ状況

受入実績 / 「帰国・退職者」 および 「就労中」 の内訳について

受入実績 < 総計112名 >



- 帰国・退職者
- 就労中

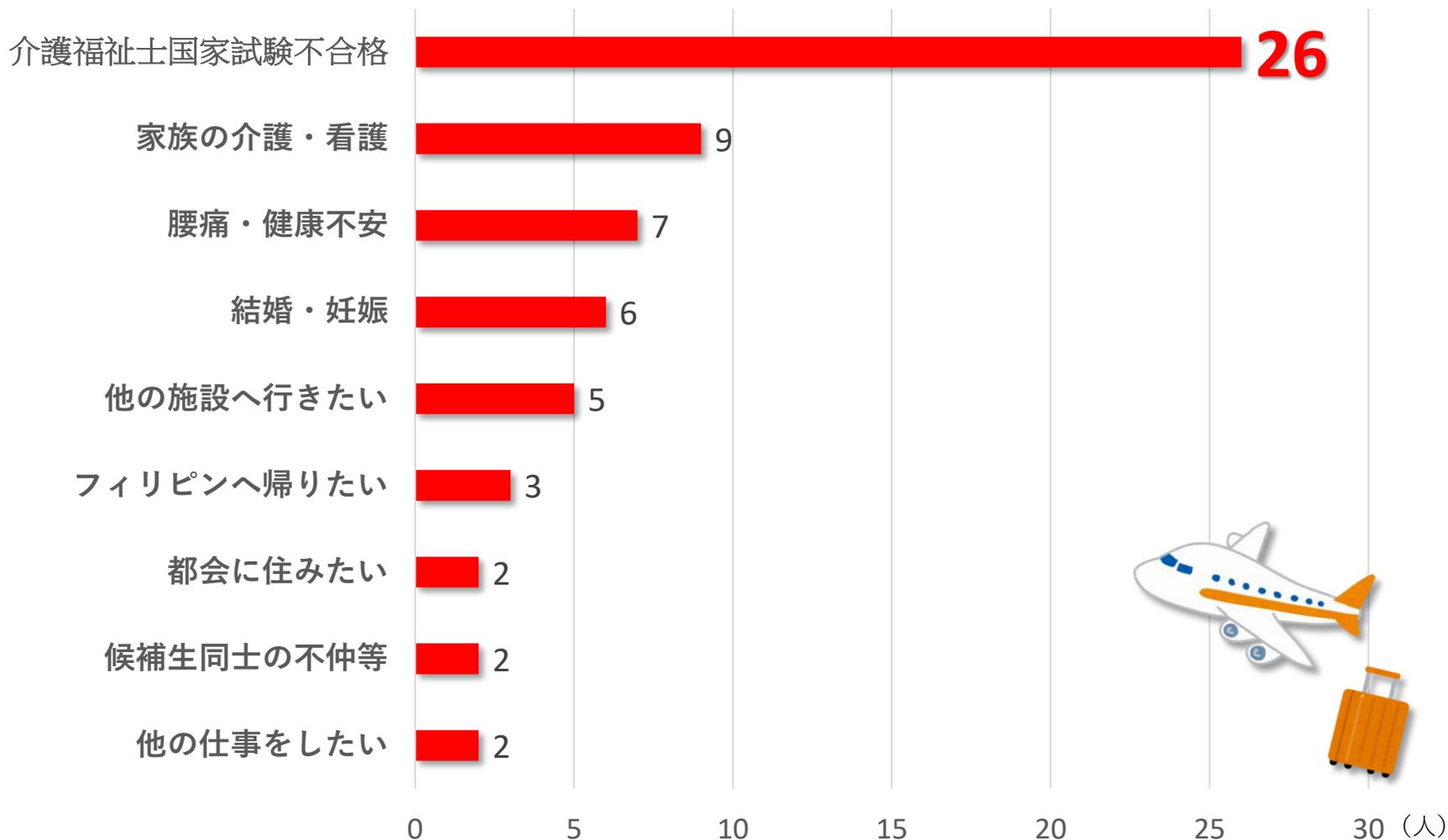


- 帰国・退職／不合格・未受験者
- 帰国・退職／合格者
- 就労中／合格者
- 就労中／候補者
- 就労中／候補者（再）
- 就労中・資格変更／不合格者

# 福寿園でのEPA受入れ状況

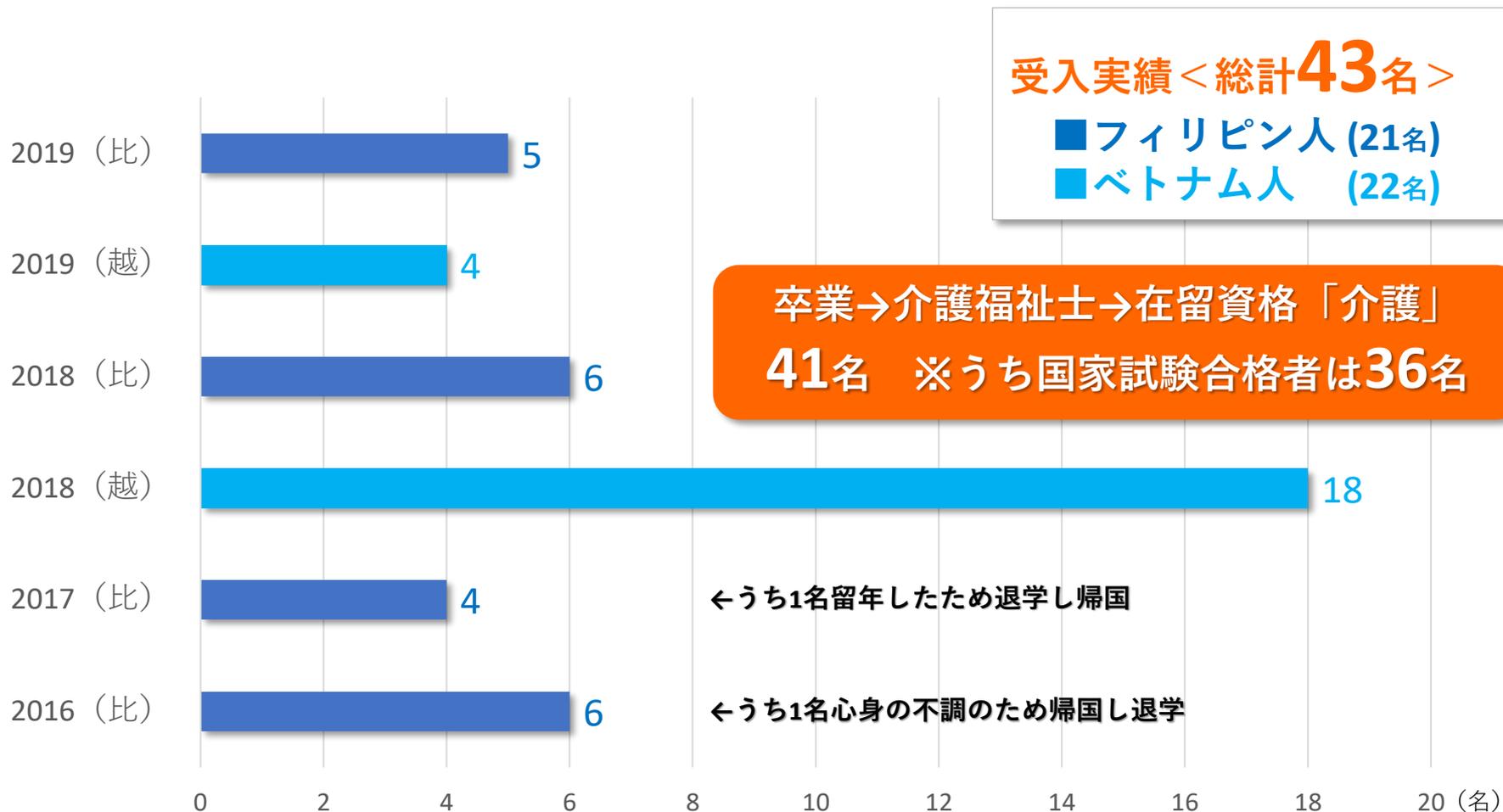
## 受入実績 / 「帰国・退職者」62名の「帰国・退職」の理由

N = 62名



# 福寿園での在留資格「介護」受入れ状況

受入実績 / 留学生が学校卒業後、介護福祉士の資格を取得し、在留資格「介護」へ変更



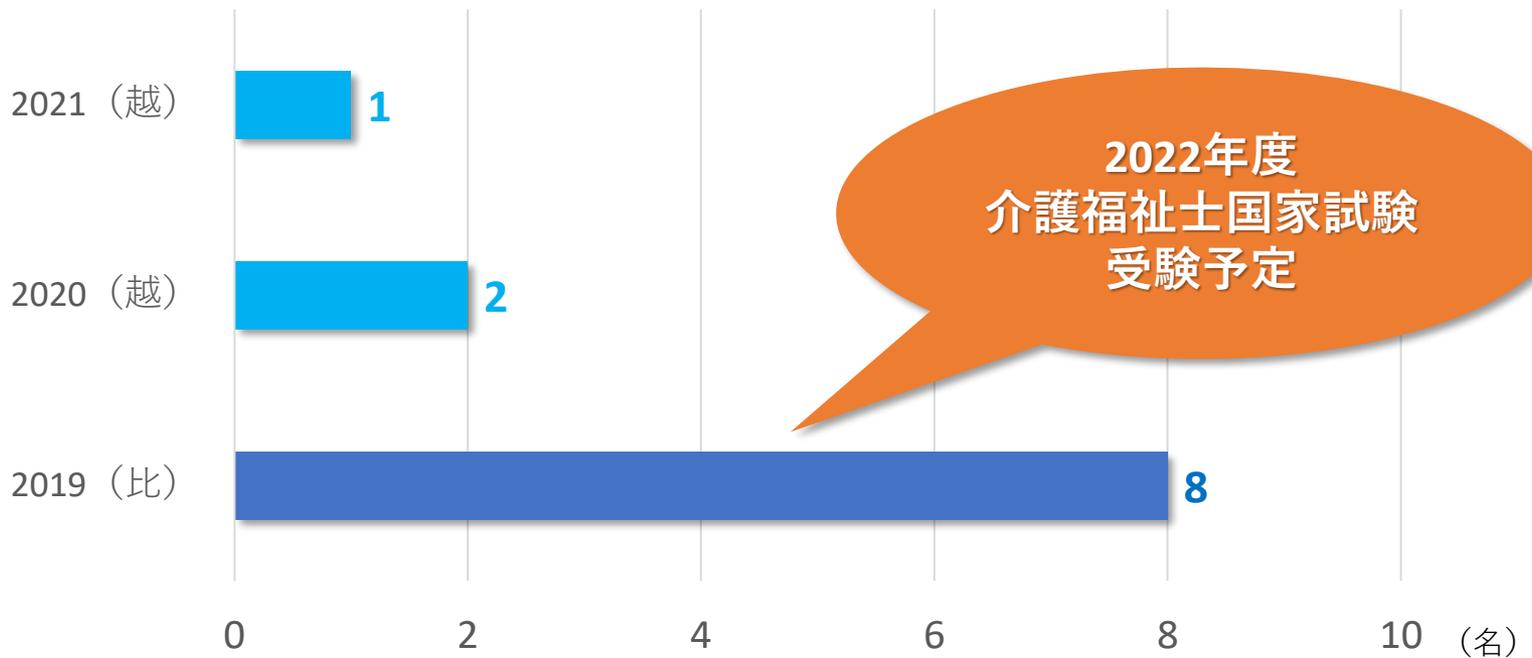
※この他に、現在25名の留学生が就学中

# 福寿園での技能実習受入れ状況

受入実績 / 介護福祉士国家試験に合格すれば、在留資格「介護」へ変更

受入実績 < 総計 **11** 名 >

- フィリピン人 (8名)
- ベトナム人 (3名)

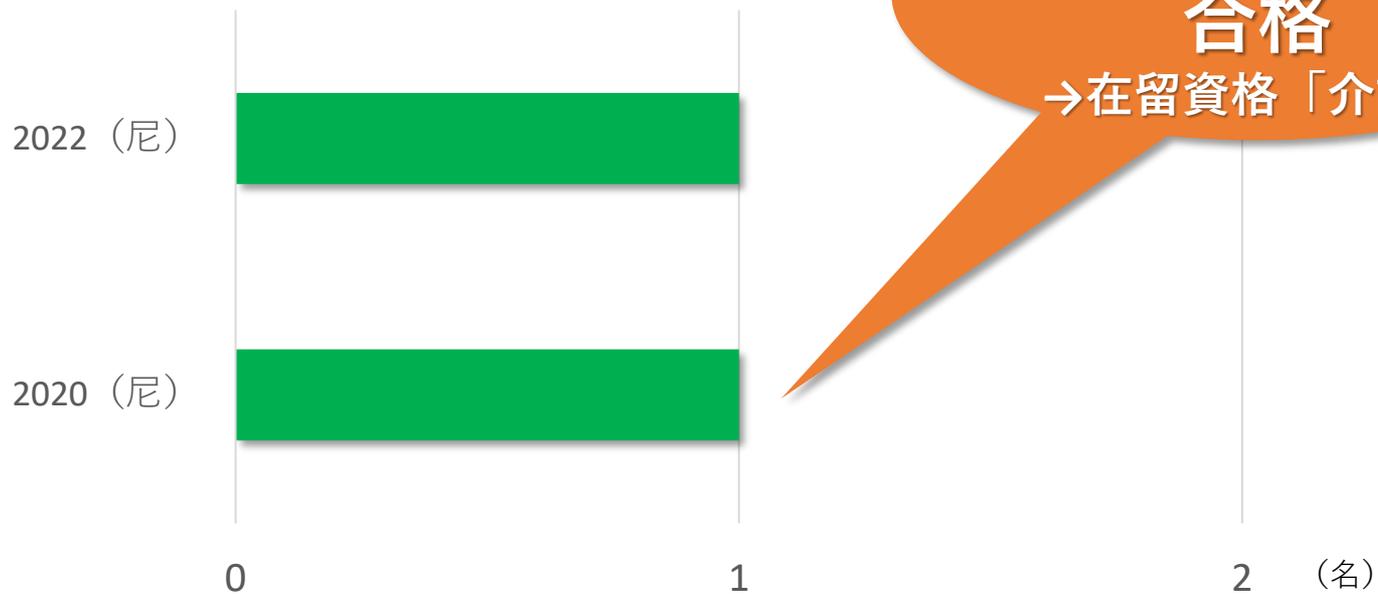


# 福寿園での特定技能受入れ状況

受入実績 / 介護福祉士国家試験に合格すれば、在留資格「介護」へ変更

受入実績 < 総計 **2名** >

■ インドネシア人 (2名)



### 【2016年度以前の体制】



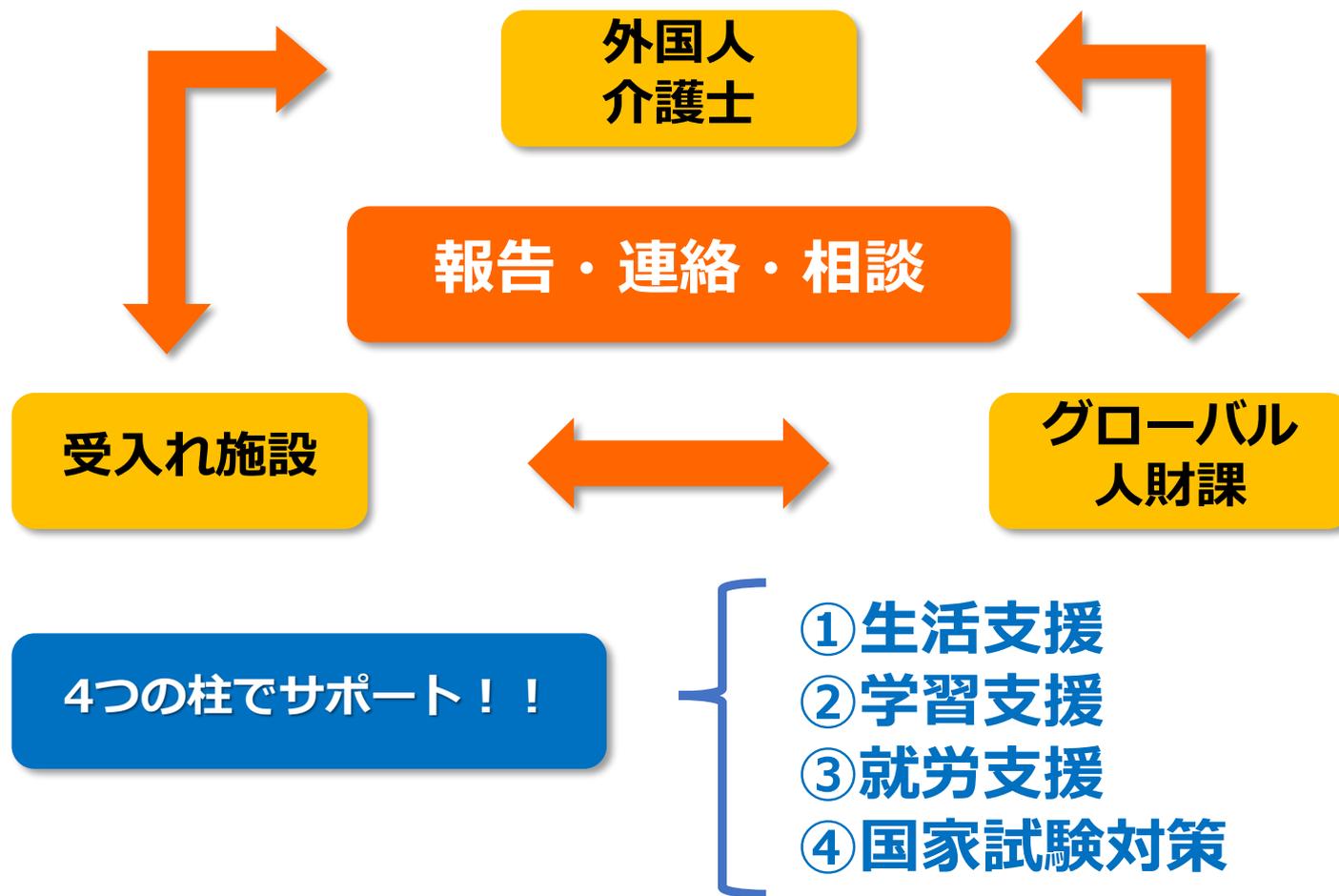
#### ★メリット

- ・柔軟に対応できる
- ・すぐに行動できる

#### ★デメリット

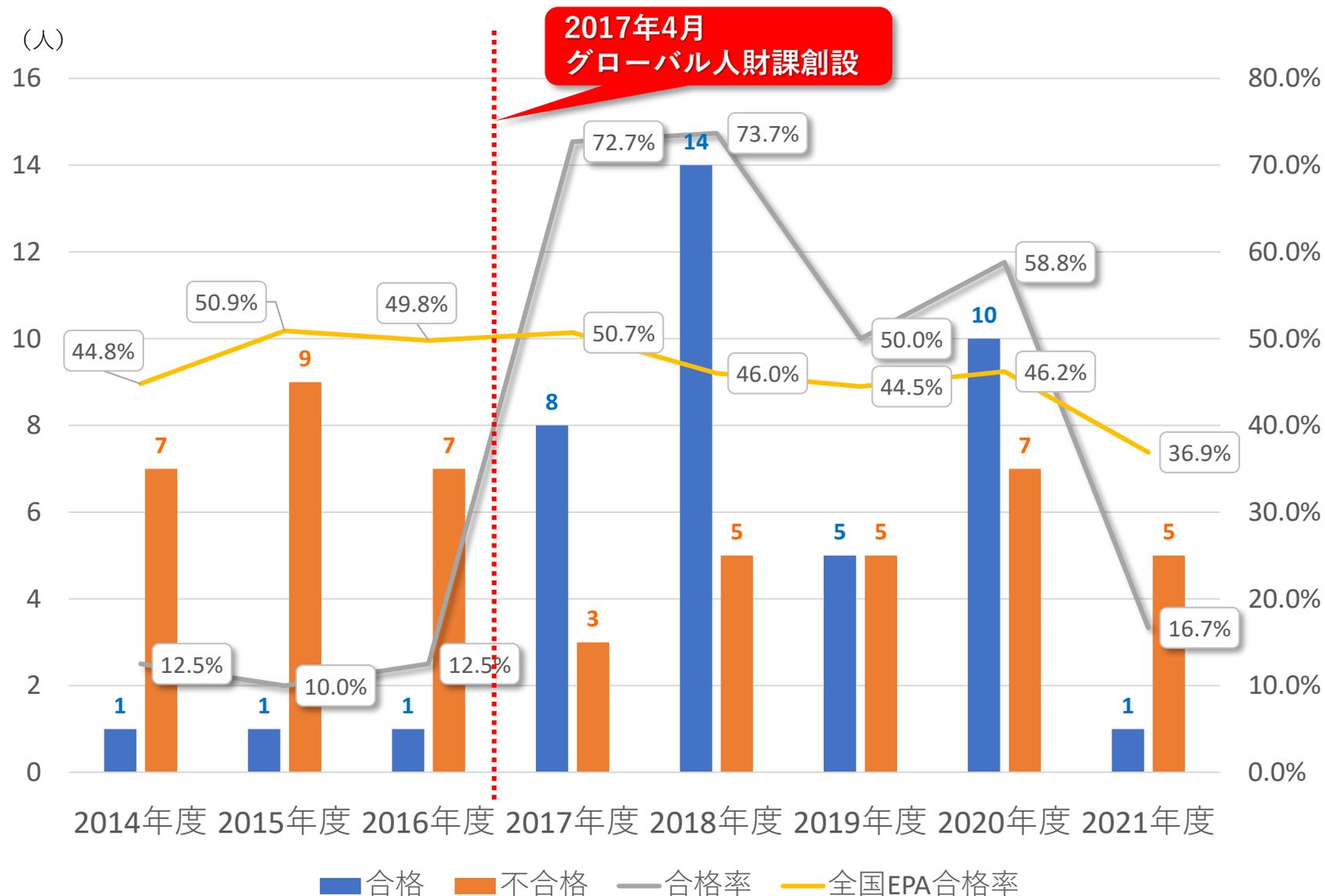
- ・それぞれの施設で対応方法が変わってしまう

### 【2017年度以降の体制】



# 福寿園の外国人材サポート体制

## 2014年度以降の受験年度別EPA合格者・不合格者等の推移とグローバル人財課の設立



## 外国人介護士を支える4つの柱

### 1. 生活支援

住居の手配、自転車の練習、買い物や病院への道案内、市役所での転入手続き、銀行口座開設、携帯の購入、電車の乗り方、施設までの通勤経路の付添い、郵便物の確認、ごみの出し方指導、教会への案内、産休中の相談、一時帰国時に空港までの送迎など

### 2. 学習支援

日本語の練習、記録の書き方、コミュニケーション指導など  
\* 毎日就労時間内で30分、時間外で30分の学習を確保 (EPA候補者)

### 3. 就労支援

ユニットの利用者の名前の読み方、記録にふりがなをつける、簡易な記録へ変更、技術指導、OJTによる技術チェックなど

### 4. 国家試験対策

受験年には、介護福祉士国家試験対策として受験対策を行う

### 1. 生活支援

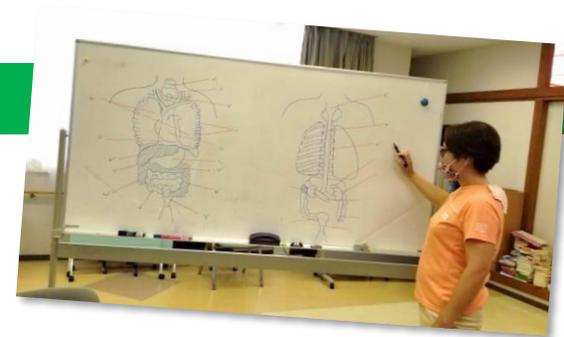
- ・ アパート（住居）の確保
- ・ 家電製品の準備（洗濯機・電子レンジなど）
- ・ 日用品の準備
- ・ 生活圏の案内（スーパー、病院の場所）
- ・ 通院時の付き添い
- ・ 自転車の乗り方レクチャー（乗れない候補生）
- ・ 日本の文化を学ぶ
- ・ 職員との交流（**サークル活動や行事への参加**）

**\* 職員は日本の家族としてサポートが必要なことは対応する  
（異国の地で仕事をし、近くに家族がいないことを受け止める）**



### 2. 学習支援

- 日記（やったことや勉強したこと）の記入（EPA候補者）
  - 施設で、就労時間内30分、就労時間外30分の学習時間を確保
- 漢字の学習（ドリル、ワークブック、プリント等）を実施（EPA候補者）
  - 施設職員も関わる
- 記録（申し送り）の練習
  - 自分で記入し、日本人職員が確認をして、間違っていたら一緒について訂正する
- 1分間スピーチ（EPA候補者）
  - 事務所の職員に、日記についてまとめたことなどをスピーチする



## 2. 学習支援

	日本語	受験対策	介護技術
担当	法人内日本語講師、施設職員	法人内日本語講師、施設職員	介護主任、介護副主任、リーダー
就労1年目	授業…3時間/週	授業…3時間/週	<ul style="list-style-type: none"> <li>採用時研修（介護基礎）</li> <li>基礎的指導（食事、排泄、入浴、移乗、着脱など）</li> </ul>
	日記（添削） 出勤時学習（勤務内30分、勤務外30分）		
就労2年目	授業 3時間/週	授業 3時間/週	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員内部研修参加</li> <li>介護記録、公式記録物の記入</li> </ul>
	出勤時学習（勤務内30分、勤務外30分）		
就労3年目	<ul style="list-style-type: none"> <li>受験対策講座（グローバル人財課）</li> <li>出勤時学習（勤務内30分、勤務外30分）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアカンファレンスに参加</li> <li>実技免除講習受講</li> </ul>

(EPA候補者)



### 3. 就労支援

- ・ 担当職員が一つひとつのケアについて確認し、利用者への対応を指導する

#### →目標

- ・ 1カ月後に自分のユニットの利用者の名前と食形態などを覚える
- ・ 3か月後に日記の仕事が指示なしでできる
- ・ 6ヶ月後に早番、遅番にはいる
- ・ 1年後に夜勤にはいる
- ・ 外国人スタッフ用のOJTシートの活用

※一緒に目標を立てて実施できたかどうかを確認する

### 4. 国家試験対策

- 法人独自の国家試験受験対策講座を開催
  - 各施設または全体で実施
- 法人内統一模試、外部の模試を実施
  - 採点后、強み、弱み等の分析および指導
- 介護技術講習会受講支援
  - 受講料や手続きのサポート、受講様子の確認など
- 合格体験談（モチベーションアップ）
  - 法人内の先輩外国人スタッフ（合格者）が体験談を発表
- 直前受験対策合宿の実施
  - 法人内施設を活用し、泊まり込みで実施
- 合格祈願、必勝弁当、先輩外国人スタッフからの応援
  - 全員合格しますように！！





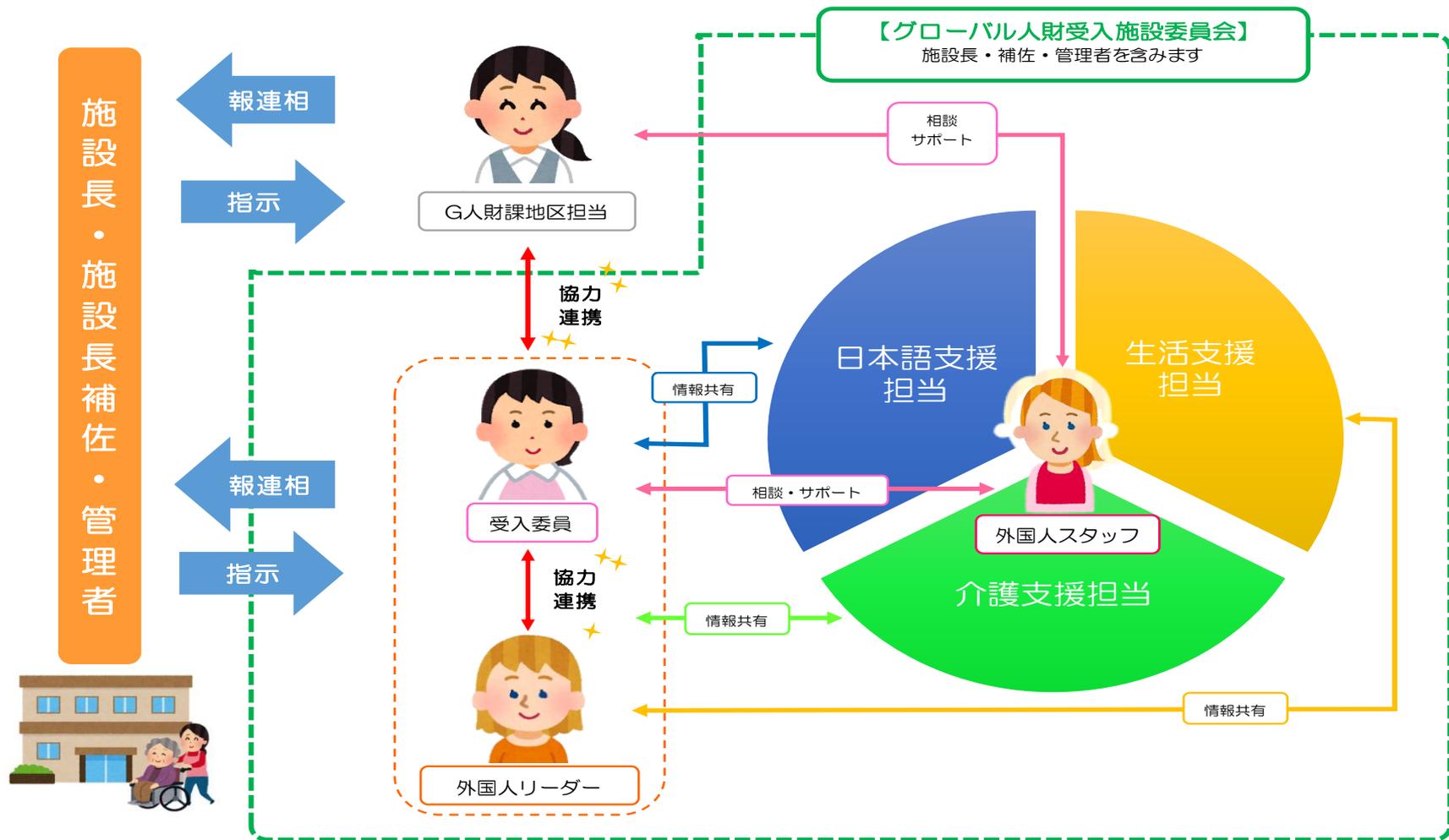
## 5. その他

- ・ ウェルカムパーティの開催
- ・ 職員旅行、施設内行事への参加
- ・ 交流企画（日帰り旅行）
- ・ 一時帰国
- ・ 日本人向け多文化共生・理解の研修
- ・ 職員海外研修旅行
- ・ マスコミ対応



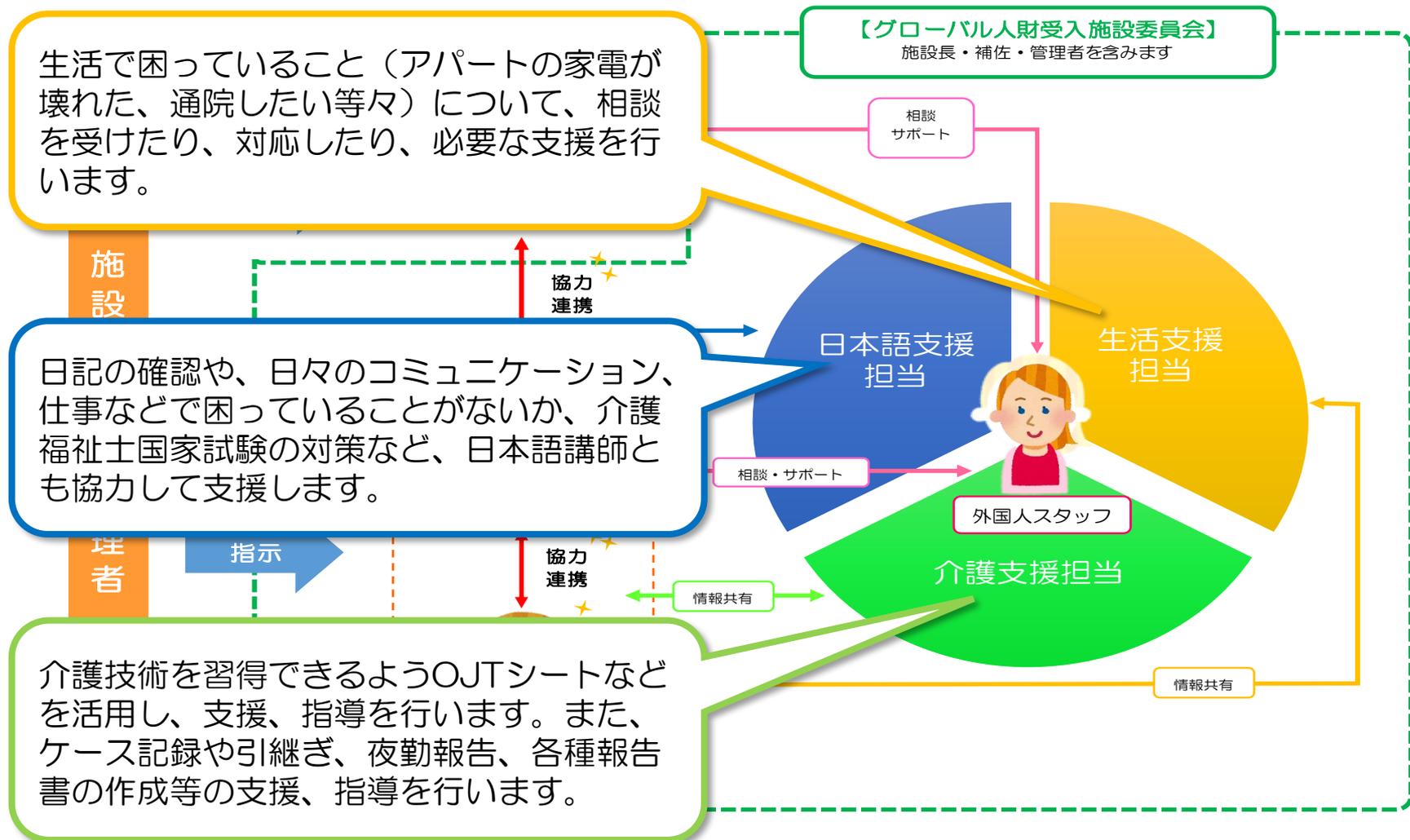
# 福寿園の外国人材サポート体制

## 各施設における「グローバル人材受入委員会」の整備



# 福寿園の外国人材サポート体制

## 各施設における「グローバル人材受入委員会」の整備



## 日本でずっと一緒に働くには...

- ・ **ご家族の呼び寄せ**
  - コロナ禍での呼び寄せが難しかったが、  
各国や日本の状況に合わせて対応する必要がある。
- ・ **ご家族（ご主人）の就労支援**
  - 日本語レベルが高くないため、日本語支援の必要性がある場合もある。  
また、職場の紹介や適性等の支援。
- ・ **子育てに関する支援**
  - 日本の教育を受けてもらうことの理解。
- ・ **結婚や、他の在留資格への変更**
  - 結婚の手续や、永住者、配偶者、定住者等への変更に関する支援。
- ・ **新たな役割へのステップアップや日本語力低下の防止**
  - リーダー、役職者へのステップアップや、  
日本語力の維持、向上と場面に応じた適切な日本語を使うための支援。

- ・ 受入れルート拡大による理解と整合性
  - それぞれの制度の目的を理解し受け入れる。整合性の問題
- ・ 日本に来て良かったと感じることができる環境づくり
  - 職場環境、待遇、支援体制等の整備
  - 福寿園で一緒に働きたいと思えるような関係作り
- ・ 介護福祉士国家試験の合格
  - 一回での合格を目指す
  - EPA以外での学習時間の確保や受験対策のあり方
  - 不合格者への道筋（帰国、再チャレンジ、ビザの変更）
- ・ 専門学校への入学促進
  - 現在のベトナム、フィリピン、インドネシアだけでなく、幅広くいろんな国との連携作りの構築
  - 他法人への奨学金支援の拡充

### 4つのルートの方角性

- **EPA**

競争過多、質の低下、制度制限、費用面等から、今後は積極的な受入れはしない

- **留学**

介護福祉士の養成校を自前で持つ以上、学生の確保は必須  
ずっと日本で働ける（介護ビザ）優秀な人材の輩出  
介護業界としてもこれ以上専門学校を減らさない

- **技能実習**

制度制限、費用面で課題。消極的

- **特定技能**

目的は人材確保。制度道半ば。各国の理解浸透が必要  
専門学校の日本語学科コースで優秀な人材を輩出

## 今まで蓄積してきた受入れノウハウを広く還元

- ・ 専門学校をとおしての他法人への就職支援
  - ・ 受入れルートの拡充（海外連携拠点）
  - ・ 優秀な介護人材育成（介護ビザ、特定技能）
  - ・ 他法人への就職あっせん（奨学金支援）
  - ・ 他法人で働く外国人への日本語教育等支援
- ・ 外国人を受け入れたことがない法人への支援
  - ・ 受入れに関する相談援助業務
  - ・ 各種手続きの支援
  - ・ 特定技能は登録支援機関として伴走的支援

外国人介護士は、我々にとって、日本の介護危機を救いに来たヒーローです。

だからこそ日本に来た外国人が「日本に来てよかった」と思える歓迎姿勢、職場環境、待遇、そして日本国を作ることが何より重要です。

でなければ、今後誰も日本に魅力を持たず、国際社会から取り残され、将来の日本の発展はなくなってしまいます。

そして、今後は日本以上に高齢化が進む彼らの国に対し、日本で習得した介護スキルを役立ててもらうことが、何よりの国際貢献と恩返しになるでしょう。

ご清聴ありがとうございました



社会福祉法人 福寿園